

地域コミュニティの現状と課題について

平成 27 年 12 月 8 日

自治振興会連絡協議会 正副会長会議で聴き取り

1 地域コミュニティ活動の活性化

[町内会・各種団体への参画、地域活動への参加]

(現状、課題)

- ・ 町内会役員は、なかなか手が無く、高齢化が進んでいる。
- ・ 町内会役員は、1、2年の班別持ち回りが多く、任期の間だけ乗り切れれば良いとの考えが強い。このため、継続的な取り組みが困難な場合がある。
- ・ 体協、児童クラブ、老人会の活動が盛んであれば、地域活動への住民参加が活発になっている。

(市民生活部)

- ・ 現状は、壮年以下の年代が、地域コミュニティに参画できていない。
これは、仕事が忙しく会合等に参加する時間がとれない、負担が大きいなどの理由による。
市としても負担を軽減する方向で、今後、壮年以下の世代が参画しやすい環境づくりについて検討していきたい。
- ・ 地域活動への、壮年以下の世代、女性層の参加促進のため、
 - ・ 地域住民全体が参加するイベント
 - ・ 複数世代で一緒にする活動、特に子ども（及び学校）が参加する活動
 - ・ 体協、児童クラブの活動等の推奨等が有効と思われる。
それらを念頭に置いて、市の地域活動のサポートについてさらに工夫していきたい。

2 町内会等の地域コミュニティへの非加入

(現状)

- ・ アパート、マンション等では、入居者に代わって管理会社等が応分の負担（一般世帯の7割等）するのが一般的で、結果、コミュニティへの参画が限定的になっている状況が増えている。

(市民生活部)

- ・ アパート・マンション等の住民は例外扱いとなっているが、今のところ都会での事例ほどのトラブルは少ない。地域では、例外の取り扱いはやむなしとの意識もあるようである。
- ・ 市としては、原則全ての住民が地域コミュニティに参画可能にする方向で取り組んでいきたい。

3 行政の地域への関わりについて

(現状、課題)

- ・ **地区センターが多く配置され、地域サービスを重視する姿勢は評価できる。**
- ・ **地区センター所長（公民館長）は、地域の一員になり切っていない。**

(市民生活部)

- ・ 地区センターによる地域でのきめ細かいサービス提供は本市の方針であるが、マイナンバー制度の導入等、状況に変化があれば、それに伴い地区センターの機能（業務内容や人員配置等）についても柔軟に対応させていきたい。
- ・ 本市では、自治振興会やふるさとづくり推進協議会、様々な事業の実行委員会等へ補助を行って地域活動をサポートし、施策にご協力いただいているが、地域活動の担い手に過大な負担をかける部分があれば、今後、地域の自主的な活動に委ねることと、行政が行うべきことの明確化を図り、補助のあり方等についても見直していきたい。
- ・ 現在の地区センター所長（公民館長併任）は、市の職員の立場で地域活動に関わっているが、更に柔軟に地域活動への参画を求められているのが実情である。
地域で勤務する職員について、その職責についての意識付けを図っていきたい。

4 その他

(現状、課題)

- ・ **地域の活動の情報交換は、ブロック単位の研修会での情報交換程度である。**

(市民生活部)

- ・ 市レベルなど、大きな研修会は、運営することにエネルギーをとられ、肝心の実のある情報交換にはなっていない。ブロック単位以上の広域の情報交換の必要性は感じていない。
市としては、優れた取り組みを勧奨、広域的に周知することに努めていきたい。

(参考：聴き取りメモ)

・呉羽の私の町内では、町内会役員の任期2年、班長1年、自分の任期のときだけの取り組みに終わる。

町内の公民館の確保、積み立て、運営（呉羽は2町内合同）

・・・こういう大事なことが継承されない。

呉羽は各種団体における連合会がよく機能している。他地域でも是非。

・上滝では持ち回りが困難で、高齢化がある。そのため、選出方法を先ず年齢順にするなど工夫している。

・密集地ではエリアが狭いので、比較的負担が少ない。班でまとまって持ち回りしている。

・細入では距離を越えて合同することは無い。（楡原、猪谷）地区毎にやっている。
壮年は集まるが、それ以下はなかなか集まらない。

・山田は「総代」が機能している。若い人の参加、子供絡み、全住民のイベントなら出る。

・婦中では、二極化している。組織としては、小規模と大規模はうまく行っているが、中規模が低調。
新団地も活動が低調。老人クラブ、婦人会はがんばっている。

・働いているからできない・・・という声が多い。昔はそれでもやっていたが。

・大山では、シニア世代はお金だけ出し、口は出さず、運営等は若い世代に任せるという試みもある。
これも大切。

(加入、非加入)

・細入は新旧だいたい加入しているが、市営住宅に入らない人がいる。

・婦中、その他・・・マンション、やはり入っていない。町費の7割等を管理会社から納入されるのが通例。

(行政への要望)

・所長・館長は、地域の人として参加してほしい。事務所で窓口対応は不要。

・人口急増地域は、職員を増やしてほしい。

・公民館主事が窓口に出るには、いかがなものか。

・総合行政センター設置校区は、市民生活課との距離感が難しい。

・公用自転車を設置して、地域を回してほしい。

(横の情報伝達)

・呉羽では、各種団体リーダー研修を行って、好事例の情報交換をしている。

懇親会による情報交換も重要。

(その他)

・婦中・・・小・中・高校生毎の地域美化活動の取り組みは、風紀に良い結果を生んでいる。
学校を巻き込むことも重要と思う。